

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	午前中、週2回程度で入浴チェック表やその日の体調を見て職員が決定し入浴介助を行っていた。利用者本人の希望に添った入浴ができていない。	職員本意の入浴支援でなく、できるだけ利用者の希望に合わせた入浴支援ができる。	その日の体調や気分に合わせて、利用者の希望に応じた家庭的な入浴を楽しんでいただけるように職員間で話し合い午前中に限らずいつでも入浴できるよう声掛けを行う。	1ヶ月
2	10	職員は日頃から家族とのコミュニケーションを図るよう指導し、イベントなどの参加を募る「おしらせ」を配布し参加を呼び掛けているが参加者は少なく固定しているため、家族会は出来ない状態	年に1~2回を目標に家族会を企画	イベントに多くの家族が参加していただけるようにイベントを休日に開催するよう努め、「おしらせ」の中に家族会に参加していただくよう口頭でも話し家族同士で意見交換ができる場の提供をしていき、末には家族の中のリーダー的存在もお願いできるような関係性にしていく。	12ヶ月
3	6	身体拘束や虐待等の外部研修の資料を表示してあったが、日々の仕事に忙しく研修に対してあまり前向きでなかった。	全職員に計画的に各種の外部研修に受講機会を設け、一層のケアの質の向上に努める。	外部研修の受講機会や期間についてもっと分かりやすく表示してもらえるように職員の中に「外部研修担当者」を決定し一人一人の職員にあった研修を紹介、決定を指示。職員全員が研修を受講できるようにしていき、研修終了後は発表の場を設け、職員間でケアの質の向上につなげていく。	12ヶ月
4	26	ケアプランやアセスメントに対して、専門的知識がなくケアマネジャー中心にプランを作成。問題点や意見に関しては朝の申し送りにて意見として議題にあげ話し合っていたが結果報告の所載がなく、プラン反映までは現在できていない。	職員がアセスメント内容を理解してプラン作成に関わることができる。	職員がアセスメントの内容を理解するため、受け持ち利用者のアセスメントを実施するよう指示し日頃の観察をしていくことでプランの作成に関わって行く。サービス提供会議にて家族と担当職員の意見を聞きアセスメントの記録として残していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。